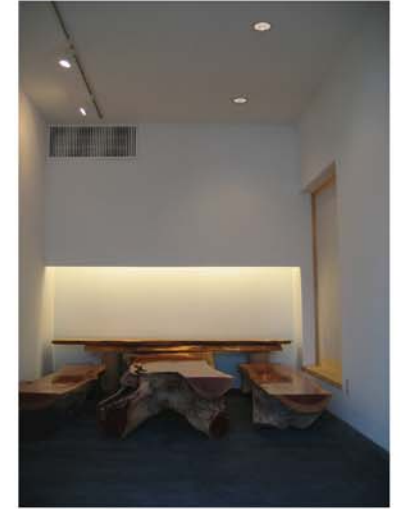


長井建築設計室  
Nagai Architect Room

## 2005 T08-house

南側に庭があり廊下を挟んで、書斎、玄関、客間、居間、ダイニングキッチン、洗面浴室へと並ぶのが既存の間取り。それぞれが独立していて部屋まで陽が入っていませんでした。それでも暗い狭いというよりも、持たれている器などの雑貨や椅子、テーブルなどの居場所がないことやお客さんを迎える大きな玄関が欲しいといった明確な要望があったことと、僕もこの廊下をうまく活かさないかと思ったことがいい具合にはまり、早い段階で方向性は決まりました。この長い廊下を活かすことを考えたときに全て障子にして強い光を拡散した方が素敵なモノ達にはいいじゃないかと思っていました。古いアルミサッシを取り替えるよりも費用対空間効果はかなり大きかったです。問題がないわけではなく、ここではゴールデンレトリバーとダックスフンドが普通に家を歩いています。引掻くことはないのですが、尻尾や体当たりで破れる可能性があったので樹脂製のものを使っています。汚れや剥がれたことはあるようですが破れたことはないようです。玄関兼客間は、既存の玄関を撤去して位置も変更しています。大きなガラスで光を採り入れ天井高さも極力とり明るく開放的にし、土間を墨入りとしたことで白い壁との対比が緊張感を与えてくれます。奥の障子を開けることで居間と一体的に使うことも出来ます。計画中も素敵な器で美味しい珈琲を頂いていましたが、この空間で頂く珈琲はいつお邪魔してもより美味しく感じます。夏はこの土間が涼しく、冬は廊下が暖かく犬たちの居場所になっています。ここでは、モノや犬にとっての空間もうまくつくれたと思っています。(2012.2)



左上 / ダイニング奥に物置・パントリーがある。右上 / イントラス。天井高さは3メートル。

ギャラリーとしても機能する。天井、壁は塗装。

左中 / 廊下。9枚の障子が並ぶ。中 / イントラス奥に無垢の飾り棚、テーブル、椅子が置いてある。

右中 / ダイニングより居間、イントラス方向をみる。

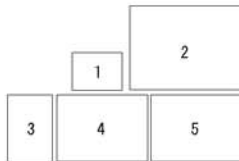
左下 / イントラス椅子(改修後、改修前) 右下 / 寝室。天井高さは2.1メートル。



## 2007 F10-house

とある社宅の改修です。間取りは2DK。ダイニングキッチンには無理やりタタミを敷いている感が否めませんでした。社宅ですので何年間かの我慢ということで予算を掛けずにタタミをフローリングに張り替えると言った友人の相談だったのですが、ご夫婦ともに生活に対して想いがあり数年でも我慢はしない方がいいんじゃないかと思い、杉板の無垢材を安く譲って頂いて張り替えることにしました。安く譲って頂いて大工さんも安く施工してもらえそうなので、北側のこの空間を少しでも明るく趣のあるものにしたいと思い天井と壁と建具を白く塗装してもらい玄関から続く壁や入り口一面を布カーテンで覆いました。壁や建具などでガタガタだった空間が柔らかく包まれて光や風などの揺らぎを感じることが出来ます。この布は結局予算以上のものを購入されていましたが、今でも引っ越すことなく住まわれています。(2012.02)

1. Y字イアとカーテン
2. ダイニングをみる。
3. 玄関よりみる。
4. 左奥に寝室がみえる。
5. 居間は縁無し敷タタミ



## 2009 U18-house



1	2	3	4
		5	6
7	8	9	

- 1.居間・書斎方向をみる。(夜)
- 2.ダイニングキッチン方向をみる。(夜)
- 3.製作キッチンからの障子の眺め。
- 4.キッチンをみる。左奥はパントリーへの扉。
- 5.障子の「行」。
- 6.キッチン立上りは100角の柱材。
- 7.書斎棚とテーブルと椅子は、ソファ、ダイニングテーブルと合せて設えている。
- 8.ソファは柱型に合せて作っている。
- 9.キッチン、照明の存在感は薄い。(昼)

市内中心街の医院併用住宅です。ここは中心街と言ってもあまり高い建物がありませんが、交通量は昼夜多く窓は開けにくそうでした。しかしこの建物は東側に通りを挟んで大きなビルがあり夏の朝の日差しを遮ってくれ日中は壁に光を反射してくれますし、視線を感じるような窓もなく少し都会を感じられていいなとも思っていました。

建物はコンクリート3階建て台形の平面をしています。柱型が大きくこの辺りは気になる要素でした。改修計画はLDK、洗面浴室などの家族共有の部分。LDKのレイアウトというよりも柱型や窓をどう扱うかといったところを当初二案提案しています。一案は都会的な窓として扱って大きめな開口を持つ明るいインナーバルコニーを提案。二案目が実施されました障子で周辺環境と距離をとる優しい空間の提案です。僕としては一案目も機会があれば、どこかで提案したいアイデアだと思っています。

キッチンは香川県のキッチンプランナーと奥様で使い勝手について話し合ってもらい、こちらではプランナーとデザインを話し合いながら調整して進めました。照明やテーブル、ソファもそれぞれのデザイナーさんと話し合っています。それぞれとてもシンプルな提案なのでプロポーションとしての寸法にこちらは気を遣って仕上げてもらいました。もちろん主役とも言える障子の寸法や引き手の金物などまで浸透しています。出来上がった空間はというと、そういった一本のピンと張った緊張感を障子の光や照明の灯そしてちょっと無骨な柱、梁型を通して気持ちを和らげてくれている空間になったと言えます。(2012.02)

# 長井信彦 / Nagai Nobuhiko



〒799-1522

愛媛県今治市桜井 1-7-35

TEL/FAX 0898-47-3945

<http://www.nagai.com>

E.mail JZK04344@nifty.ne.jp

## 略歴

1973年 福岡県生まれ

1995年 西日本工業大学建築学科 卒業

1995年 多田建設 株式会社(東京) 入社

1997年 株式会社 黒川建築設計事務所(岡山) 入社

2002年 株式会社 東液商事トス設計(愛媛) 入社

2004年 長井建築設計室 設立

## 経歴

2007年 平成19年度 今治市まちなみ景観賞

2008年 第18回 TH大賞パトナーシップ賞

2009年 FMラヂオバリバリ 長井建築放送室パーソナリティ

2010年 今治市景観まちづくり会議委員

## リフォームについて

改築、増築などのリフォームも新築とおなじ建築だと思っています。

依頼主がいて、敷地がある。僕の中で建築はここから始まります。

土地探しや物件探しなどの相談も受けていますが、話すことは希望や想像でしかないの  
でイメージは膨らみますが、何かはっきりしていません。依頼主がいない、敷地がなく  
ても夢や空想は描けますし、それはそれで楽しいのですが何か繋がっていない感じがし  
ます。その土地に行けば、あたりまえですがそれぞれ違った日差しや風を感じるし景色  
も見えれば匂いも音もします。通行量やコミュニティなどもある。また先住の塙、木や  
花、石であったり井戸なんかもあったりします。これもひとつの環境です。と、考える  
と既存の家も環境以外の何ものでもありません。何を活かすのかどこを絶つのか「これ  
からどう豊かにするか」「どのように現在とつなげるか」を考えていくことが建築だと思  
っています。なので、リフォームも新築も僕にとっては同じ建築なのです。ただリ  
フォームには歴史があり思い出もあるので依頼主にとっては、より繋がりが深いことを  
僕が決して忘れてはならないことです。(2012.02)

